



世界中から応援される 選手になりたい

輝いている人

インタビュー
Interview

輝いている人
紹介動画



黒江さんのインタビューや練習の様子を、動画で紹介しています

6月に行われた Jenny Heart's 杯・第9回全日本ヒルズ国際ジュニア選手権兼第5回東アジア国際ジュニア選手権予選で優勝したのが黒江仁さんだ。8月27日から韓国で開催される国際大会に出場するほか、ハワイやオーストラリアなどで行われる国際大会にも出場を予定している。黒江さんに目標を尋ねると、「頑張って優勝したい」と大会への意気込みを語ってくれた。

ゴルフとの出会いは2歳のとき。父親からもらったおもちゃのゴルフクラブで遊んでいたのがきっかけだそう。3歳で、本格的なゴルフクラブで球を打ち始め、4歳でコースデビュー。5歳のときには、世界ジュニアゴルフ選手権U6の決勝大会に初めて出場した。現在、毎日練習に取り組み

お黒江さん。クラブには所属せず、父親から指導を受けているという。どんな選手を目指しているかを尋ねると、「タイガー・ウッズや松山英樹のような世界で活躍できる選手になりたい」と話す。また、ゴルフだけでなく、テニスや水泳、陸上競技に取り組んでいる。複数の競技で、さまざまな体の動きを体験することが、身体能力向上につながるそう。いろいろなスポーツの練習や学校の宿題をするのは大変だけど、強くなるためにがんばっています。特にゴルフとテニスで活躍したい」と話してくれた。

将来は、ゴルフとテニスの両競技で、4大会制覇・オリンピック金メダル獲得を目指しているという黒江さん。彼なら二刀流で世界を制覇してくれるに違いない。

台風に 備えましょう！

近年の日本では、毎年、勢力の強い台風が発生し、大きな被害をもたらしています。台風接近時は、雨や風が強くなる前に災害に備えて行動し、命を守りましょう。
問い合わせ 危機管理室 (☎ 0866-92-8599)

土のうステーション

浸水被害を未然に防ぐため、土のうステーションを設置しています。各自で土のうを作成し、1世帯20袋まで持ち帰ることができます。
設置場所 消防本部グラウンド、東公民館南グラウンド、池田小学校グラウンド、西公民館西水防倉庫前、下原銀杏の木広場、昭和中学校グラウンド、維新小学校グラウンド、下村地区公会堂北グラウンド、歓喜寺(草田地区)、旧清音公民館南駐車場

家の中の備え

- ・非常用品(懐中電灯、携帯用ラジオ、救急用品、貴重品など)を確認する
- ・窓に飛散防止フィルムを貼る(飛来物に備えてカーテンやブラインドを閉める)
- ・断水に備え、飲料水の確保や浴槽に水をためて生活用水を確保する
- ・浸水時の被害を防ぐため、低い場所にある物は高所か2階に移動させる
- ・漏電や感電を防ぐため、コンセントからプラグを抜いておく
- ・携帯電話を充電しておく



家の外の備え

- ・窓や網戸の鍵を掛け、必要に応じて補強する
- ・側溝や排水溝を掃除して、水はけをよくしておく
- ・風で飛ばされそうな物は、固定するか家の中に入れておく

連載

そうじゃ防災士の会 からのメッセージ

第1回 日頃から災害に備えておきましょう



そうじゃ防災士の会は、市内の防災や減災の知識をもった防災士が集まり、平成29年に結成されました。会員や自主防災組織に対して防災セミナーを開催するなど、地域防災発展のため活動しています。この連載では、「日頃から家庭や地域で取り組める防災活動」をテーマに、防災に関するアドバイスを発信していきます。

第1回は、9月1日の防災の日にあたり、日頃からできる災害への備えについて紹介します。9月は台風の襲来が多く、「災害への備えを怠らないように」と注意喚起されています。災害への備えとして、非常持ち出し袋の準備、ハザードマップ・緊急時の避難場所・連絡方法の確認、地震に備えて家具の固

定など、家庭でできることが数多くあります。また、地域で協力してできることとして、連絡網を作成したり、避難訓練を実施したりすることなどが挙げられます。

4年前、平成30年7月豪雨災害が発生した際、下原地区はアルミ工場の爆発と家屋浸水という二重被害を受けたにも関わらず、犠牲者がおませんでした。約10年前から自主防災組織活動や避難訓練などを実施し、地域全体で防災意識の向上を図ってきた成果と考えられます。いつ起きるか分からない災害に対して、日頃から備えておくことが大切です。家族や地域で改めて災害への対策を見直し、もしもに備えましょう。

問い合わせ 危機管理室 (☎ 0866-92-8599)